



旭川市立東光中学校
令和8年度
学校だより③
7月23日 発行

〒078-8348 旭川市東光8条2丁目 Tel 0166-32-1295 Fax 0166-32-1296

「勝負」の先にある成長を信じて

校長 高 島 伸 彦

きらめく夏の光とともに、1年の折り返し地点である1学期末を迎えました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、6月下旬の中連体育大会、そして7月上旬の上川管内代表決定戦では、本校の生徒たちによる数々の熱戦が繰り広げられました。ユニフォームに身を包み、仲間と声を掛け合いながら最後まで諦めずに挑む姿は、見る者の胸を熱くさせるものばかりでした。嬉し涙を流した生徒もいれば、全力を尽くしたからこそ、悔しさに肩を震わせた生徒もいます。当然、勝利を目指して努力してきたのですから、負けて悔しいのは当たり前ですし、逆に「負けてもいいや」では困ります。勝者がいれば敗者がいるというのが現実です。しかし、勝敗や順位が付く活動をする以上、私たちはそれを「勝った、負けた」の一時的な結果だけで終わらせてはならないと考えています。

私はかつて、保健体育科の教員として、また女子バスケットボール部の指導者として25年間、中学校で生徒たちと向き合ってきました。その中で、常に自分自身に課してきた強い思いがあります。それは、「指導者として、生徒たち一人一人が最高の自分になるためにベストを尽くせるように、自分自身がベストを尽くす」ということです。

部活動において、最終的な目標はいつも生徒たち自身に決めさせていました。私たち大人の役割は、その目標に向かうための「設計図」を全力で作成し、先を見通しながら生徒と共通理解を図ることです。このプロセスを大切にすると、チームは一つ一つの結果に一喜一憂しない、落ち着いた強さをもつようになります。たとえ負けたとしても、生徒たちは言い訳をせず、最終目標に向かって「次に何をすべきか」を主体的に考え、再び前を向いて歩み始めることができるようになるのです。

生徒たちは、これからの人生で様々な苦難に直面します。失敗や敗北など、思い通りにならない「壁」は数多く立ちふさがるでしょう。しかし、大切なのは「1番だから偉い、勝ったから偉い」ということではありません。目標に向かって仲間と協力したプロセスそのもの、そして「勝負」を通して学んだことを、その後の学校生活や人生にどう生かしていくかです。大会を終えた今、悔しさを成長の糧とし、自分でその壁を乗り越えようとする強さを、東光中学校の生徒たちには身に付けてほしいと願っています。

1学期が終わる今、そしてこの東光中学校を卒業していくとき、子どもたちがどんな表情で、どんな思いをもつことができるか。私たち教職員一同は、常にその「ゴールのイメージ」をしっかりと胸に抱き、子どもたちがまだ見ぬ『最高の自分』に出会えるよう、日々の教育活動にベストを尽くしてまいります。保護者の皆様におかれましては、今後とも子どもたちの挑戦を温かく支え、共に歩んでいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

「中学校連盟体育大会」 結果

6月19日(金)から、旭川市中学校連盟体育大会が市内の各会場で開催されました。各部とも日頃の練習の成果を発揮し、随所で熱戦を繰り上げました。その結果、7月3日からの上川管内中学校体育大会代表決定戦への出場権を獲得した選手もいました。3年生にとっては心に残る大会になったことと思います。

★★★ 旭川市中学校連盟体育大会の結果 ★★★

《男子ソフトテニス部》

- ◇団体戦 【予選3位】(1勝2敗)
- ◇個人戦 【ベスト16】 深澤・渡部ペア

《女子ソフトテニス部》

- ◇団体戦 【予選1位】(2勝0敗)
- 【決勝トーナメント】
- 2回戦 ●東光 1-2 永山南
- ◇個人戦 【ベスト16】 二井・富田ペア

《男子バスケットボール部》

- ◇1回戦 ●東光 35-62 北星

《女子バスケットボール部》

- ◇1回戦 ●東光 43-63 東陽

《野球部》

- ◇1回戦 ●東光 3-4 神楽・神居

《バドミントン部》

- ◇男子団体戦
- ・1回戦 ●東光 1-2 東明

◇男子シングルス

- 【5位】 田中
- 【ベスト16】 松本

◇男子ダブルス

- 【ベスト16】 山崎・菅原ペア

◇女子団体戦

- ・1回戦 ●東光 0-3 東陽

◇女子ダブルス

- 【ベスト16】 荒崎・印牧ペア
- 【ベスト16】 清水・清水ペア

★★★ 上川管内代表決定戦の結果 ★★★

《男子ソフトテニス部》

- ◇個人戦
- 「深澤・渡部ペア」 2回戦惜敗

《女子ソフトテニス部》

- ◇個人戦
- 「二井・富田ペア」 2回戦惜敗

《バドミントン部》

- ◇男子シングルス
- 田中 2回戦惜敗
- 松本 1回戦惜敗

- ◇男子ダブルス
- 「山崎・菅原ペア」 1回戦惜敗

- ◇女子ダブルス
- 「清水・清水ペア」 2回戦惜敗
- 「荒崎・印牧ペア」 1回戦惜敗

《柔道部》

- ◇女子団体戦 3位

◇男子個人戦

- 小澤 3位
- 岩田 2回戦惜敗
- 瀬田 1回戦惜敗

◇女子個人戦

- 高石 2位
- 佐藤 3位
- 西原 3位

《サッカー部》

- ◇1回戦 ○東光・愛宕・東陽 10-0 中富良野
- ◇2回戦 ●東光・愛宕・東陽 0-3 緑が丘



「運動会ボランティア」に11名が参加！

本校では、生徒の自己有用感や自己肯定感を育むことを大切にしています。その具現化に向け、地域と連携したボランティア活動への参加を推奨し、地域社会に貢献しようとする姿勢を養うとともに、自己有用感を高める取組を進めています。

この一環として、今年も学校運営協議会委員であり「幼保連携型バンビ認定こども園」の園長を務められている小野孝子様から運動会ボランティアへのお声がけをいただきました。生徒に参加を呼びかけたところ、11名の生徒が自発的に応募してくれました。生徒たちは6月27日(土)の運動会当日、職員の方々の指示を受けながら、率先してきびきびと活動していました。

中学生は、すでに立派な地域の担い手であり、支援を受ける側から、地域へ貢献する側へと成長できる存在です。こうした活動は、地域社会へ主体的に参画しようとする意識を高めるだけでなく、地域の方々の努力や工夫に直接触れる機会となります。このことを通じて、生徒自身が自分の人生を豊かにし、よりよく生きようとする希望をもつことにつながると考えています。

思いやりの輪を広げる「いじめ防止全校道徳」の取組

7月8日（水）に全校生徒が体育館に集い、生徒会の企画による「いじめ防止全校道徳」を実施しました。今回は「自分の言動が周囲に与える影響」をテーマに、生徒会によるリアリティあふれる寸劇やスライドを通じ、人から聞いた話を安易に広める危険性や、いじめ防止の本質について考えを深めました。また、友人の良さや感謝を綴った画用紙を生徒玄関に掲示する「四つ葉のクローバープロジェクト」も始動します。誰もが過ごしやすい互いを認め合う温かい学校づくりを、今後も生徒一丸となって進めてまいります。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。



「礼儀正しさ」と「チームワーク」 宿泊研修で見た2年生の輝く姿！

7月14日（火）・15日（水）に、2年生は南富良野・美瑛で宿泊研修を行いました。

1日目は「ラフティング」に「ドッジボール」、「借り人競争」そして「キャンプファイヤー」。2日目は「野外ウォークラリー」か「パークゴルフ&館内ウォークラリー」を選び、それぞれ大いに楽しみました。

どの研修先もかなりの暑さでしたが、日頃から東光中の暑さに慣れているせいか、子どもたちは体調を崩すことなく元気に過ごしていました。また、訪れた至る所で「東光中の生徒は礼儀正しい」とお褒めの言葉をいただきました。帰着式では、敷内教頭先生から「これまで旭川で数々の宿泊研修を見てきたが、これほど立派なものはなかった」と大絶賛される一幕もありました。

この貴重な成功体験を、今後の学校生活や来年の修学旅行にぜひ生かしてほしいと思います。



ラフティング



夕食ビュッフェ



キャンプファイヤー



野外ウォークラリー



館内ウォークラリー

東光祭は9/15（火）です！

本年度の東光祭もご都合をつけて、子どもたちの活躍をぜひご覧いただきたいと思います。

つきましては、保護者の皆様方には午前の部終了後、一旦学校を出て、お食事をとっていただくことになっております。ただし、ご自宅が遠方にあるため、どうしても校内で喫食をしたいという方には、わずかなスペースですが、食事場所を設けます。詳細は、後日配付する案内プリントに記載します。

